

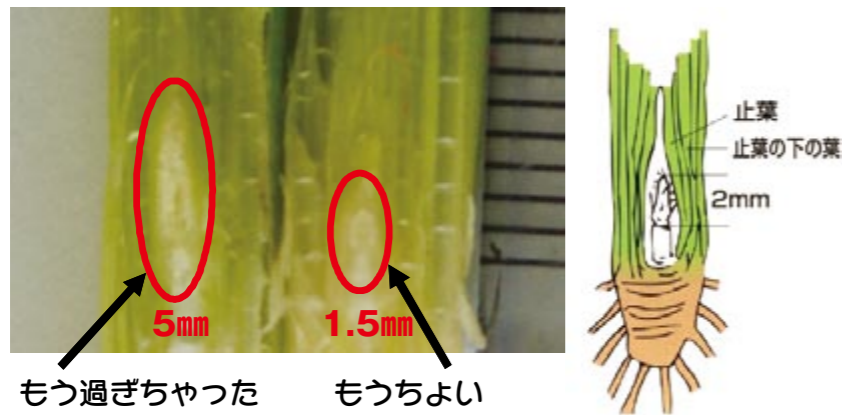
深水管理とケイ酸追肥のチェックポイント

- ・ 生育が平年並みだからといって、油断は禁物です！ 現在の基幹品種の耐冷性は必ずしも強くない！
- ・ 不稔発生の防止、良質・良食味米の安定生産のためには、深水管理とケイ酸追肥の徹底を！

深水管理

◆幼穂形成期の確認

主稈の**幼穂長が平均2mm**になった日が幼穂形成期

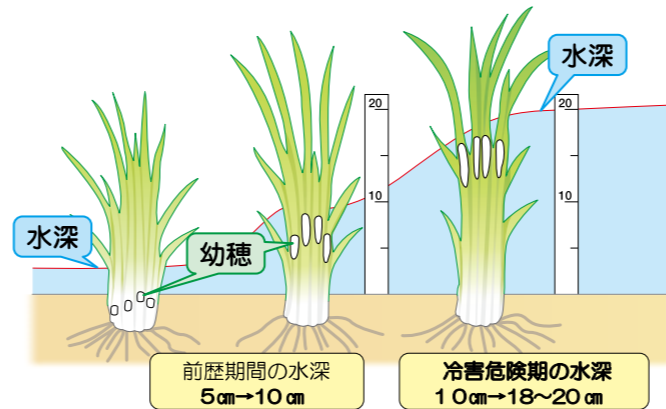


◆前歴期間の時期と水深

- ・ 幼穂形成期のあとの10日間が目安
- ・ 徐々に水を深くして10cmの水深に

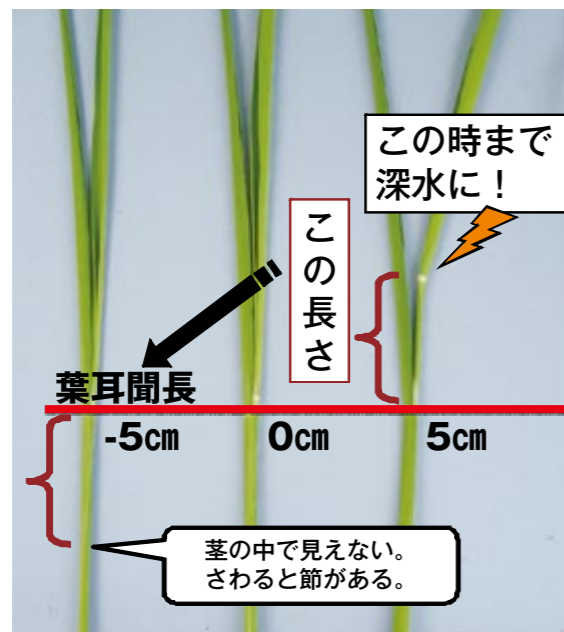
◆冷害危険期の時期と水深

- ・ 前歴期間のあとの10日間が目安
- ・ 主稈の葉耳間長が-5cmから約80%の茎の葉耳間長が+5cmまで
- ・ 幼穂の高さに合わせ徐々に水を深くして**最大18~20cmの水深**に



◆冷害危険期の確認

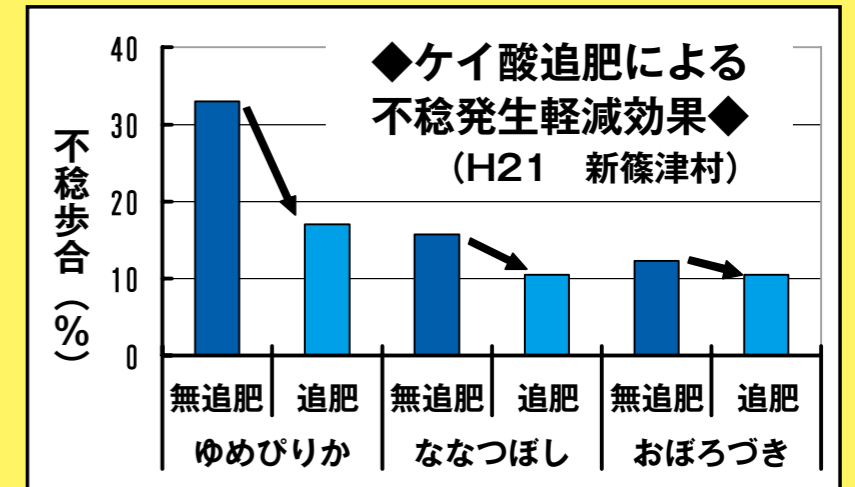
主稈の葉耳間長-5cm~+5cm



ケイ酸追肥

◆ケイ酸追肥の時期

幼穂形成期から1週間後までの間にケイ酸資材20kg/10aを投入



◆深水の効果 (H21 中央農試)

水温の低下が小さく、不稔が半減
浅水39.3% → 深水16.5%

